

高圧ガス関係事故集計
(令和4年10月末現在)

令和5年1月

**表 1 高圧ガス事故統計集計表
(令和4年10月末現在)**

1. 年別及び月別事故 (累計) ^{〔注1〕}

年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
1月	124	76	77	53	70	74	68	51	60	54	49
2月	94	62	57	64	61	68	54	58	43	55	56
3月	66	79	62	78	87	63	60	56	39	45	53
4月	60	67	68	80	139	59	61	68	46	49	70
5月	76	64	67	61	81	70	65	61	46	65	54
6月	76	67	68	66	65	67	73	51	57	59	65
7月	114	66	59	70	78	88	174	69	51	63	71
8月	65	74	83	55	85	70	70	52	100	62	57
9月	70	61	54	50	64	56	65	58	49	63	50
10月	77	84	62	68	90	72	79	62	51	51	35
11月	76	76	70	56	69	70	59	62	64	65	0
12月	68	67	74	66	73	77	56	67	44	51	0
合計	966	843	801	767	962	834	884	715	650	682	560
対前年比 ^{〔注2〕}	▲ 11.4	▲ 12.7	▲ 5.0	▲ 4.2	25.4	▲ 13.3	6.0	▲ 19.1	▲ 9.1	4.9	▲ 17.9

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注2〕 対前年比の欄は、前年の合計に対する増減(%)を表す。

**表 1-1 高圧ガス事故統計集計表【災害】
(令和4年10月末現在)**

1. 年別及び月別事故 (累計) ^{〔注1〕}

年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
1月	34	32	21	24	47	45	52	49	56	51	45
2月	43	31	32	29	37	44	38	55	40	52	52
3月	27	31	32	46	47	42	44	50	37	41	52
4月	33	27	36	47	48	39	53	61	39	47	64
5月	42	32	32	41	61	46	63	58	43	59	52
6月	42	35	35	47	43	52	71	49	53	54	62
7月	43	37	31	49	55	59	103	62	44	60	67
8月	40	44	45	43	52	52	65	52	94	57	55
9月	34	22	35	20	52	42	58	52	44	59	45
10月	37	44	28	39	60	55	70	51	50	50	34
11月	35	37	30	44	43	49	54	59	59	63	0
12月	27	25	34	37	46	53	51	62	41	47	0
合計	437	397	391	466	591	578	722	660	600	640	528
対前年比 ^{〔注2〕}	▲ 12.1	▲ 9.2	▲ 1.5	19.2	26.8	▲ 2.2	24.9	▲ 8.6	▲ 9.1	6.7	▲ 17.5

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【災害】とは、高圧ガス保安法第63条第1項第1号に規定する場合をいう。

〔注2〕 対前年比の欄は、前年の合計に対する増減(%)を表す。

表 1 - 2 高圧ガス事故統計集計表【喪失・盗難】
(令和4年10月末現在)

1. 年別及び月別事故 (累計) ^{〔注1〕}

年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
1月	90	44	56	29	23	29	16	2	4	3	4
2月	51	31	25	35	24	24	16	3	3	3	4
3月	39	48	30	32	40	21	16	6	2	4	1
4月	27	40	32	33	91	20	8	7	7	2	6
5月	34	32	35	20	20	24	2	3	3	6	2
6月	34	32	33	19	22	15	2	2	4	5	3
7月	71	29	28	21	23	29	71	7	7	3	4
8月	25	30	38	12	33	18	5	0	6	5	2
9月	36	39	19	30	12	14	7	6	5	4	5
10月	40	40	34	29	30	17	9	11	1	1	1
11月	41	39	40	12	26	21	5	3	5	2	0
12月	41	42	40	29	27	24	5	5	3	4	0
合計	529	446	410	301	371	256	162	55	50	42	32
対前年比 ^{〔注2〕}	▲ 10.8	▲ 15.7	▲ 8.1	▲ 26.6	23.3	▲ 31.0	▲ 36.7	▲ 66.0	▲ 9.1	▲ 16.0	▲ 23.8

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【喪失・盗難】とは、高圧ガス保安法第63条第1項第2号に規定する場合をいう。

〔注2〕 対前年比の欄は、前年の合計に対する増減(%)を表す。

表2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)

(令和4年10月末現在)

区分		年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
製 造 事 業 所	冷 凍		271	330	306	260	(230) 281	(226)
	コンビナート		45	88	79	108	(94) 115	(92)
	L P		12	33	37	23	(16) 17	(25)
	一 般		145	168	159	126	(103) 129	(109)
	計		473	619	581	517	(443) 542	(452)
移 動			19	22	28	16	(22) 22	(27)
消 費			321	191	70	73	(76) 92	(59)
そ の 他			21	52	36	44	(25) 26	(22)
合 計			834	884	715	650	(566) 682	(560)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表2-1 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【災害】

(令和4年10月末現在)

区分		年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
製 造 事 業 所	冷 凍		271	330	306	260	(230) 281	(226)
	コンビナート		45	88	79	108	(94) 115	(92)
	L P		11	28	37	23	(16) 17	(24)
	一 般		143	162	153	124	(102) 128	(107)
	計		470	608	575	515	(442) 541	(449)
移 動			18	20	26	15	(22) 22	(25)
消 費			73	74	44	55	(50) 60	(36)
そ の 他			17	20	15	15	(16) 17	(18)
合 計			578	722	660	600	(530) 640	(528)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表2-2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和4年10月末現在)

区分		年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
製 造 事 業 所	冷 凍		0	0	0	0	(0) 0	(0)
	コンビナート		0	0	0	0	(0) 0	(0)
	L P		1	5	0	0	(0) 0	(1)
	一 般		2	6	6	2	(1) 1	(2)
	計		3	11	6	2	(1) 1	(3)
移 動			1	2	2	1	(0) 0	(2)
消 費			248	117	26	18	(26) 32	(23)
そ の 他			4	32	21	29	(9) 9	(4)
合 計			256	162	55	50	(36) 42	(32)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）

（令和4年10月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他					合計																									
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																								
令和4年	(18)	(14)	(34)	(66)	(102)	(15)	(28)	(27)	(30)	(21)	(223)	(0)	(8)	(1)	(9)	(42)	(8)	(50)	(8)	(6)	(189)	(9)	(212)	(560)																								
令和3年	(20)	25	(23)	26	(29)	37	(72)	88	(101)	114	(20)	24	(20)	25	(41)	47	(30)	35	(16)	18	(228)	263	(0)	0	(9)	11	(2)	2	(11)	13	(53)	68	(3)	4	(56)	72	(7)	7	(9)	9	(169)	215	(14)	15	(199)	246	(566)	682
令和2年	27	48	30	105	117	25	38	46	30	14	270	0	13	1	14	47	6	53	3	2	187	16	208	650																								
令和1年	26	27	35	88	158	14	35	48	36	10	301	3	7	2	12	58	9	67	13	13	203	18	247	715																								
平成30年	37	68	45	150	125	19	35	48	52	13	292	4	10	0	14	59	15	74	89	20	181	64	354	884																								
平成29年	30	23	43	96	113	29	30	56	41	8	277	0	8	3	11	38	3	41	23	19	162	205	409	834																								

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-1 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（令和4年10月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他					合計																									
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																								
令和4年	(18)	(14)	(34)	(66)	(102)	(15)	(28)	(27)	(30)	(11)	(213)	(0)	(8)	(1)	(9)	(42)	(8)	(50)	(5)	(6)	(179)	(0)	(190)	(528)																								
令和3年	(20)	25	(23)	26	(29)	37	(72)	88	(101)	114	(20)	24	(20)	25	(41)	47	(30)	35	(15)	17	(227)	262	(0)	0	(9)	11	(2)	2	(11)	13	(53)	68	(3)	4	(56)	72	(5)	5	(9)	9	(150)	191	(0)	0	(164)	205	(530)	640
令和2年	27	48	30	105	117	25	38	46	30	14	270	0	13	1	14	47	6	53	2	2	154	0	158	600																								
令和1年	26	27	35	88	158	14	35	48	36	10	301	3	7	2	12	58	9	67	3	13	176	0	192	660																								
平成30年	37	68	45	150	125	19	35	48	52	13	292	4	10	0	14	59	15	74	17	20	155	0	192	722																								
平成29年	30	23	43	96	113	29	30	56	41	8	277	0	8	3	11	38	3	41	3	19	131	0	153	578																								

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-2 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（令和4年10月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他					合計																			
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																		
令和4年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(10)	(10)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(10)	(9)	(22)	(32)																		
令和3年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(2)	2	(0)	0	(19)	24	(14)	15	(35)	41	(36)	42
令和2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	33	16	50	50																		
令和1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	27	18	55	55																		
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72	0	26	64	162	162																		
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	31	205	256	256																		

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)

(令和4年10月末現在)

業種 年	石油 精製		石油 化学		一般 化学		冷凍 事業所		充填所		容器 検査所		その他		合計
令和4年	(38)		(26)		(49)		(226)		(1)		(0)		(112)		(452)
令和3年	(40)	48	(29)	36	(33)	41	(230)	281	(0)	0	(0)	0	(111)	136	(443) 542
令和2年		39		24		49		260		1		0		144	517
令和1年		39		22		31		306		3		0		180	581
平成30年		39		32		43		330		24		1		150	619
平成29年		22		13		34		271		9		1		123	473

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4-1 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【災害】

(令和4年10月末現在)

業種 年	石油 精製		石油 化学		一般 化学		冷凍 事業所		充填所		容器 検査所		その他		合計
令和4年	(38)		(26)		(48)		(226)		(0)		(0)		(111)		(449)
令和3年	(40)	48	(29)	36	(33)	41	(230)	281	(0)	0	(0)	0	(110)	135	(442) 541
令和2年		39		24		49		260		1		0		142	515
令和1年		39		22		31		306		2		0		175	575
平成30年		39		32		43		330		17		1		146	608
平成29年		22		13		34		271		9		1		120	470

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4-2 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和4年10月末現在)

業種 年	石油 精製		石油 化学		一般 化学		冷凍 事業所		充填所		容器 検査所		その他		合計
令和4年	(0)		(0)		(1)		(0)		(1)		(0)		(1)		(3)
令和3年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(1) 1
令和2年		0		0		0		0		0		0		2	2
令和1年		0		0		0		0		1		0		5	6
平成30年		0		0		0		0		7		0		4	11
平成29年		0		0		0		0		0		0		3	3

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）

（令和4年10月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																									
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																								
令和4年	(18)	(13)	(32)	(63)	(97)	(15)	(24)	(21)	(27)	(4)	(188)	(0)	(8)	(1)	(9)	(31)	(4)	(35)	(3)	(0)	(152)	(2)	(157)	(452)																								
令和3年	(20)	25	(22)	25	(27)	35	(69)	85	(101)	114	(19)	23	(15)	20	(35)	41	(30)	35	(2)	2	(202)	235	(0)	0	(6)	8	(2)	2	(8)	10	(30)	40	(0)	0	(30)	40	(5)	5	(0)	0	(129)	167	(0)	0	(134)	172	(443)	542
令和2年	27	47	27	101	112	25	30	43	28	2	240	0	8	1	9	30	4	34	2	0	131	0	133	517																								
令和1年	25	27	34	86	156	14	31	44	36	1	282	3	5	2	10	39	4	43	4	2	149	5	160	581																								
平成30年	36	67	45	148	122	19	25	41	51	3	261	3	7	0	10	41	3	44	17	1	138	0	156	619																								
平成29年	29	22	41	92	112	25	25	48	39	3	252	0	6	3	9	21	0	21	1	2	94	2	99	473																								

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5-1 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（令和4年10月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																									
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																								
令和4年	(18)	(13)	(32)	(63)	(97)	(15)	(24)	(21)	(27)	(4)	(188)	(0)	(8)	(1)	(9)	(31)	(4)	(35)	(3)	(0)	(151)	(0)	(154)	(449)																								
令和3年	(20)	25	(22)	25	(27)	35	(69)	85	(101)	114	(19)	23	(15)	20	(35)	41	(30)	35	(2)	2	(202)	235	(0)	0	(6)	8	(2)	2	(8)	10	(30)	40	(0)	0	(30)	40	(5)	5	(0)	0	(128)	166	(0)	0	(133)	171	(442)	541
令和2年	27	47	27	101	112	25	30	43	28	2	240	0	8	1	9	30	4	34	2	0	129	0	131	515																								
令和1年	25	27	34	86	156	14	31	44	36	1	282	3	5	2	10	39	4	43	3	2	149	0	154	575																								
平成30年	36	67	45	148	122	19	25	41	51	3	261	3	7	0	10	41	3	44	11	1	133	0	145	608																								
平成29年	29	22	41	92	112	25	25	48	39	3	252	0	6	3	9	21	0	21	1	2	93	0	96	470																								

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5-2 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（令和4年10月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																
令和4年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)	(3)	(3)																
令和3年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1
令和2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2																
令和1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	6	6																
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	5	0	11	11																
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3																

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表6 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)

(令和4年10月末現在)

種類 年	L P ガス		アセチレン		そ の 他 の ガ ス		合 計	
	令和4年	(9)		(1)		(17)		(27)
令和3年	(11)	11	(0)	0	(11)	11	(22)	22
令和2年		6		0		10		16
令和1年		13		1		14		28
平成30年		8		4		10		22
平成29年		7		1		11		19

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表6-1 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【災害】

(令和4年10月末現在)

種類 年	L P ガス		アセチレン		そ の 他 の ガ ス		合 計	
	令和4年	(8)		(1)		(16)		(25)
令和3年	(11)	11	(0)	0	(11)	11	(22)	22
令和2年		6		0		9		15
令和1年		13		1		12		26
平成30年		8		2		10		20
平成29年		6		1		11		18

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表6-2 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和4年10月末現在)

種類 年	L P ガス		アセチレン		そ の 他 の ガ ス		合 計	
	令和4年	(1)		(0)		(1)		(2)
令和3年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0
令和2年		0		0		1		1
令和1年		0		0		2		2
平成30年		0		2		0		2
平成29年		1		0		0		1

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）

(令和4年10月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計																				
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計																					
令和4年	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(3)	(0)	(3)	(7)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(3)	(0)	(5)	(11)	(0)	(16)	(27)																				
令和3年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	0	(4)	4	(6)	6	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(3)	3	(0)	0	(3)	3	(0)	0	(9)	9	(3)	3	(0)	0	(12)	12	(22)	22
令和2年	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6	8	0	1	0	1	1	0	1	0	2	4	0	6	16																				
令和1年	0	0	1	1	0	0	2	0	0	3	5	0	0	0	4	1	5	0	6	10	1	17	28																					
平成30年	0	1	0	1	0	0	2	0	0	3	5	0	0	0	3	1	4	0	8	4	0	12	22																					
平成29年	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	2	0	2	0	6	6	0	12	19																				

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-1 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

(令和4年10月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計																				
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計																					
令和4年	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(3)	(0)	(3)	(7)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(3)	(0)	(5)	(9)	(0)	(14)	(25)																				
令和3年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	0	(4)	4	(6)	6	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(3)	3	(0)	0	(3)	3	(0)	0	(9)	9	(3)	3	(0)	0	(12)	12	(22)	22
令和2年	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6	8	0	1	0	1	1	0	1	0	2	3	0	5	15																				
令和1年	0	0	1	1	0	0	2	0	0	3	5	0	0	0	4	1	5	0	6	9	0	15	26																					
平成30年	0	1	0	1	0	0	2	0	0	3	5	0	0	0	3	1	4	0	8	2	0	10	20																					
平成29年	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	2	0	2	0	6	5	0	11	18																				

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-2 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

(令和4年10月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計			
令和4年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(2)	(2)		
令和3年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0
令和2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1		
令和1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2		
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2		
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1		

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 8 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)

(令和4年10月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
令和4年	(18)	(10)	(0)	(7)	(0)	(24)	(59)
令和3年	(20) 26	(11) 12	(2) 2	(14) 19	(1) 1	(28) 32	(76) 92
令和2年	23	15	1	7	1	26	73
令和1年	18	31	0	6	0	15	70
平成30年	20	109	1	17	1	43	191
平成29年	28	258	1	12	0	22	321

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

表 8-1 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)【災害】

(令和4年10月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
令和4年	(9)	(7)	(0)	(4)	(0)	(16)	(36)
令和3年	(14) 17	(7) 8	(2) 2	(7) 10	(1) 1	(19) 22	(50) 60
令和2年	18	9	1	6	1	20	55
令和1年	10	21	0	3	0	10	44
平成30年	11	33	1	9	1	19	74
平成29年	13	40	1	4	0	15	73

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガスによる災害の場合は、アセチレンによる災害としている。

表 8-2 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)【喪失・盗難】

(令和4年10月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
令和4年	(9)	(3)	(0)	(3)	(0)	(8)	(23)
令和3年	(6) 9	(4) 4	(0) 0	(7) 9	(0) 0	(9) 10	(26) 32
令和2年	5	6	0	1	0	6	18
令和1年	8	10	0	3	0	5	26
平成30年	9	76	0	8	0	24	117
平成29年	15	218	0	8	0	7	248

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

表9 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）

(令和4年10月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計																								
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計																									
令和4年	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(3)	(2)	(3)	(10)	(20)	(0)	(0)	(0)	(0)	(6)	(3)	(9)	(4)	(1)	(19)	(6)	(30)	(59)																								
令和3年	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	0	(4)	4	(6)	6	(0)	0	(6)	8	(16)	18	(0)	0	(2)	2	(0)	0	(2)	2	(15)	19	(1)	2	(16)	21	(1)	1	(0)	0	(25)	33	(15)	16	(41)	50	(76)	92
令和2年	0	1	2	3	5	0	5	3	2	3	18	0	4	0	4	14	1	15	0	0	29	4	33	73																								
令和1年	0	0	0	0	1	0	2	3	0	3	9	0	1	0	1	10	3	13	7	4	28	8	47	70																								
平成30年	1	0	0	1	1	0	7	7	1	2	18	0	2	0	2	11	9	20	50	11	32	57	150	191																								
平成29年	1	0	1	2	1	4	4	7	2	0	18	0	1	0	1	12	1	13	22	11	52	202	287	321																								

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-1 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

(令和4年10月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計																								
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計																									
令和4年	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(3)	(2)	(3)	(3)	(13)	(0)	(0)	(0)	(0)	(6)	(3)	(9)	(1)	(1)	(12)	(0)	(14)	(36)																								
令和3年	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	0	(4)	4	(6)	6	(0)	0	(6)	8	(16)	18	(0)	0	(2)	2	(0)	0	(2)	2	(15)	19	(1)	2	(16)	21	(0)	0	(0)	0	(15)	18	(0)	0	(15)	18	(50)	60
令和2年	0	1	2	3	5	0	5	3	2	3	18	0	4	0	4	14	1	15	0	0	15	0	15	55																								
令和1年	0	0	0	0	1	0	2	3	0	3	9	0	1	0	1	10	3	13	0	4	17	0	21	44																								
平成30年	1	0	0	1	1	0	7	7	1	2	18	0	2	0	2	11	9	20	5	11	17	0	33	74																								
平成29年	1	0	1	2	1	4	4	7	2	0	18	0	1	0	1	12	1	13	2	11	26	0	39	73																								

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-2 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

(令和4年10月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計								
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計									
令和4年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(7)	(7)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(7)	(6)	(16)	(23)								
令和3年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(10)	15	(15)	16	(26)	32	(26)	32
令和2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	4	18	18								
令和1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	11	8	26	26								
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	0	15	57	117	117								
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	26	202	248	248								

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)

(令和4年10月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中		容器等の くず化		放 置 容 器		その他		合 計	
	令和4年	(0)		(0)		(1)		(21)		(22)
令和3年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(25)	26	(25)	26
令和2年		0		0		2		42		44
令和1年		0		0		1		35		36
平成30年		0		3		0		49		52
平成29年		0		3		1		17		21

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10-1 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【災害】

(令和4年10月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中		容器等の くず化		放 置 容 器		その他		合 計	
	令和4年	(0)		(0)		(1)		(17)		(18)
令和3年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(16)	17	(16)	17
令和2年		0		0		2		13		15
令和1年		0		0		1		14		15
平成30年		0		3		0		17		20
平成29年		0		3		1		13		17

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10-2 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和4年10月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中		容器等の くず化		放 置 容 器		その他		合 計	
	令和4年			(0)				(4)		(4)
令和3年			(0)	0			(9)	9	(9)	9
令和2年				0				29		29
令和1年				0				21		21
平成30年				0				32		32
平成29年				0				4		4

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11 現象別区分による分析(最近6年間)

(令和4年10月末現在)

年 現象	平成29年			平成30年			令和1年			令和2年			令和3年			令和4年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発	4	0	4	6	0	4	6	0	6	4	0	3	(6) 7	(1) 1	(4) 4	(3)	(0)	(1)
火 災	5	0	4	13	0	4	21	1	9	18	0	9	(16) 17	(0) 0	(4) 5	(13)	(0)	(6)
噴出漏洩	552	1	34	670	0	44	574	1	36	531	1	34	(471) 575	(6) 6	(42) 46	(475)	(1)	(16)
破裂・破壊	10	0	2	17	0	2	39	0	4	32	1	5	(24) 28	(0) 0	(6) 6	(21)	(0)	(0)
そ の 他	263	0	2	178	0	12	75	0	7	65	1	2	(49) 55	(1) 1	(1) 1	(48)	(1)	(2)
合 計	834	1	46	884	0	66	715	2	62	650	3	53	(566) 682	(8) 8	(57) 62	(560)	(2)	(25)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-1 現象別区分による分析(最近6年間)【災害】

(令和4年10月末現在)

年 現象	平成29年			平成30年			令和1年			令和2年			令和3年			令和4年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発	4	0	4	6	0	4	6	0	6	4	0	3	(6) 7	(1) 1	(4) 4	(3)	(0)	(1)
火 災	5	0	4	13	0	4	21	1	9	18	0	9	(16) 17	(0) 0	(4) 5	(13)	(0)	(6)
噴出漏洩	552	1	34	670	0	44	574	1	36	531	1	34	(471) 575	(6) 6	(42) 46	(475)	(1)	(16)
破裂・破壊	10	0	2	17	0	2	39	0	4	32	1	5	(24) 28	(0) 0	(6) 6	(21)	(0)	(0)
そ の 他	7	0	2	16	0	12	20	0	7	15	1	2	(13) 13	(1) 1	(1) 1	(16)	(1)	(2)
合 計	578	1	46	722	0	66	660	2	62	600	3	53	(530) 640	(8) 8	(57) 62	(528)	(2)	(25)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-2 現象別区分による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和4年10月末現在)

年 現象	平成29年			平成30年			令和1年			令和2年			令和3年			令和4年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発																		
火 災																		
噴出漏洩																		
破裂・破壊																		
そ の 他	256	0	0	162	0	0	55	0	0	50	0	0	(36) 42	(0) 0	(0) 0	(32)	(0)	(0)
合 計	256	0	0	162	0	0	55	0	0	50	0	0	(36) 42	(0) 0	(0) 0	(32)	(0)	(0)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表11 現象別区分による分析（最近6年間）

(令和4年10月末現在)

年 現象	平成29年			平成30年			令和1年			令和2年			令和3年			令和4年			
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	
爆 発	4	0	4	6	0	4	6	0	6	4	0	3	(6) 7	(1) 1	(4) 4	(3)	(0)	(1)	
火 災	5	0	4	13	0	4	21	1	9	18	0	9	(16) 17	(0) 0	(4) 5	(13)	(0)	(6)	
漏 え い	漏えい①	279	0	4	349	0	13	358	0	15	357	1	19	(283) 341	(0) 0	(4) 4	(279)	(0)	(1)
	漏えい②	165	0	10	211	0	11	130	0	7	127	0	8	(99) 125	(2) 2	(7) 9	(103)	(0)	(7)
	漏えい③	108	1	20	110	0	20	86	1	14	47	0	7	(89) 109	(4) 4	(31) 33	(93)	(1)	(8)
計	552	1	34	670	0	44	574	1	36	531	1	34	(471) 575	(6) 6	(42) 46	(475)	(1)	(16)	
破裂・破壊	10	0	2	17	0	2	39	0	4	32	1	5	(24) 28	(0) 0	(6) 6	(21)	(0)	(0)	
その他	263	0	2	178	0	12	75	0	7	65	1	2	(49) 55	(1) 1	(1) 1	(48)	(1)	(2)	
合 計	834	1	46	884	0	66	715	2	62	650	3	53	(566) 682	(8) 8	(57) 62	(560)	(2)	(25)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

別表11-1 現象別区分による分析（最近6年間）【災害】

(令和4年10月末現在)

年 現象	平成29年			平成30年			令和1年			令和2年			令和3年			令和4年			
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	
爆 発	4	0	4	6	0	4	6	0	6	4	0	3	(6) 7	(1) 1	(4) 4	(3)	(0)	(1)	
火 災	5	0	4	13	0	4	21	1	9	18	0	9	(16) 17	(0) 0	(4) 5	(13)	(0)	(6)	
漏 え い	漏えい①	279	0	4	349	0	13	358	0	15	357	1	19	(283) 341	(0) 0	(4) 4	(279)	(0)	(1)
	漏えい②	165	0	10	211	0	11	130	0	7	127	0	8	(99) 125	(2) 2	(7) 9	(103)	(0)	(7)
	漏えい③	108	1	20	110	0	20	86	1	14	47	0	7	(89) 109	(4) 4	(31) 33	(93)	(1)	(8)
計	552	1	34	670	0	44	574	1	36	531	1	34	(471) 575	(6) 6	(42) 46	(475)	(1)	(16)	
破裂・破壊	10	0	2	17	0	2	39	0	4	32	1	5	(24) 28	(0) 0	(6) 6	(21)	(0)	(0)	
その他	7	0	2	16	0	12	20	0	7	15	1	2	(13) 13	(1) 1	(1) 1	(16)	(1)	(2)	
合 計	578	1	46	722	0	66	660	2	62	600	3	53	(530) 640	(8) 8	(57) 62	(528)	(2)	(25)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

表12 人的被害の推移(最近6年間)

(令和4年10月末現在)

区分 年	人身事 故件数	死 亡 (名)	重 傷 (名)	軽 傷 (名)	死傷者 合 計
令和4年	(22)	(2)	(6)	(19)	(27)
令和3年	(32) 37	(8) 8	(11) 13	(46) 49	(65) 70
令和2年	38	3	14	39	56
令和1年	44	2	13	49	64
平成30年	45	0	11	55	66
平成29年	37	1	9	37	47

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13 事故等級別事故発生件数(最近6年間)
(令和4年10月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計	
令和4年	(0)		(18)		(542)		(560)	
令和3年	(0)	0	(16)	18	(550)	664	(566)	682
令和2年	0		34		616		650	
令和1年	0		23		692		715	
平成30年	0		23		861		884	
平成29年	0		19		815		834	

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13-1 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【災害】
(令和4年10月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計	
令和4年	(0)		(18)		(510)		(528)	
令和3年	(0)	0	(16)	18	(514)	622	(530)	640
令和2年	0		34		566		600	
令和1年	0		23		637		660	
平成30年	0		23		699		722	
平成29年	0		19		559		578	

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13-2 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【喪失・盗難】
(令和4年10月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計	
令和4年	(0)		(0)		(32)		(32)	
令和3年	(0)	0	(0)	0	(36)	42	(36)	42
令和2年	0		0		50		50	
令和1年	0		0		55		55	
平成30年	0		0		162		162	
平成29年	0		0		256		256	

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表13 事故等級別事故発生件数

(令和4年10月末現在)

年 \ 級	A級	B級		C級			合 計
		B 1 級	B 2 級	C 級	C 1 級	C 2 級	
令和4年	(0)	(2)	(16)		(88)	(454)	(560)
令和3年	(0) 0	(5) 5	(11) 13		(77) 97	(473) 567	(566) 682
令和2年	0	3	31		91	525	650
令和1年	0	3	20		116	576	715
平成30年	0	2	21		119	742	884
平成29年	0	2	17		105	710	834

※1 B 1 級事故は、B 級事故から B 2 級事故を除いたもの。B 2 級事故は、同一事業所において事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 級事故（平成 2 8 年以降は、同一事業所において A 級事故、B 級事故又は C 1 級事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 1 級事故）。

※2 C 1 級事故は、C 級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多量漏えいが発生した事故。C 2 級事故は、C 級事故から C 1 級事故を除いたもの。
C 級事故 = C 1 級事故 + C 2 級事故

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表13-1 事故等級別事故発生件数【災害】

(令和4年10月末現在)

年 \ 級	A級	B級		C級			合 計
		B 1 級	B 2 級	C 級	C 1 級	C 2 級	
令和4年	(0)	(2)	(16)		(88)	(422)	(528)
令和3年	(0) 0	(5) 5	(11) 13		(77) 97	(437) 525	(530) 640
令和2年	0	3	31		91	475	600
令和1年	0	3	20		116	521	660
平成30年	0	2	21		119	580	722
平成29年	0	2	17		105	454	578

※1 B 1 級事故は、B 級事故から B 2 級事故を除いたもの。B 2 級事故は、同一事業所において事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 級事故（平成 2 8 年以降は、同一事業所において A 級事故、B 級事故又は C 1 級事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 1 級事故）。

※2 C 1 級事故は、C 級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多量漏えいが発生した事故。C 2 級事故は、C 級事故から C 1 級事故を除いたもの。
C 級事故 = C 1 級事故 + C 2 級事故

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。